

# 2025(令和7)年度 伊賀市立三訪小学校マニフェスト

## 〈学校教育目標〉

なかまとともに、確かな学力と豊かな心、そして行動力をもった子どもの育成

### めざす「三訪っ子像」

- ・自分の考えをもち、なかまとともに学び合う子(学力)
- ・自分もなかまも大切にし、なかまとの関係を築こうとする子(人権)
- ・目標を持ち、ねばり強く、夢と希望に向かって取り組む子(キャリア)

課題	具体的な取組	数値目標 ◇児童◆保護者
【学力】 なかまとともに学ぶ喜びを実感できる授業の創造 ・家庭学習の定着・読書習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"><li>・相手の話をよく聴き、安心して学び合える学級をつくります。</li><li>・授業の「ねらい」を明確にもち、一人ひとりの子どもの理解を確かめながら学習を進めます。</li><li>・家庭学習の内容を工夫し、保護者と協働し、家庭での学習習慣を定着させます。</li><li>・読書活動を推進し、読書習慣を定着させます。</li><li>・タブレットを活用した、表現や話し合いを行います。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◇「【学年×10分】以上の家庭学習ができた」 85%以上</li><li>◇「授業が分かりやすい」 90%以上</li><li>◇「読書が好き」 <b>85%以上</b></li><li>◆「子どもに学力が身につけられるよう努力している。」 90%以上</li></ul>
【人権】 自己肯定感の育成・集団づくり・差別を許さない子どもの育成	<ul style="list-style-type: none"><li>・達成感を味わえる授業や活動を行い、自己肯定感を高めます。</li><li>・日記・作文の交流、家庭訪問をとおして関わり、子ども理解に努め、子どもたちが互いのくらしや思いを知り合い、安心して過ごせる環境をつくります。</li><li>・差別を許さない、なくすために行動できる子どもを育てます。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◇「自分にはよいところがあると思う」 <b>85%以上</b></li><li>◇「学校生活が楽しい」 90%以上</li><li>◆「人権を尊重する態度を育てようとしている」 90%以上</li></ul>
【キャリア】 基本的な生活習慣の習得・将来展望が持てる子どもの育成・地域に根ざした教育	<ul style="list-style-type: none"><li>・あいさつをする目的等を理解し、自分からあいさつができる子を育てます。</li><li>・めあてをもって掃除に取り組める子を育てます。</li><li>・将来の夢や希望がもてる出あいの場を設定します。</li><li>・地域や保護者と連携し、ともに教育活動を進めます。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◇「時間いっぱい、掃除をがんばった」 90%以上</li><li>◇「自分には夢がある」 85%以上</li><li>◇◆「あいさつをしている」 85%以上</li></ul>
【地域・保護者との連携】 地域・保護者とともに創る学校	<ul style="list-style-type: none"><li>・「ホームページの随時更新」「学校だより・学年だよりの発行」を行い、教育活動をわかりやすく保護者・地域に伝えます。</li><li>・地域を題材にした教材に取り組み、地域とともに学校教育活動を進めます。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆「学校の様子を知ることに役立っている」 90%以上</li><li>◆「保護者や学校運営協議会等の意見を取り入れて学校改善に努めている」 90%以上</li></ul>
【職場環境】 安心して働ける職場環境の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・信頼される学校にするために法令を遵守し社会的規範に基づくルールに従い教育を行います。</li><li>・提案の精度を高め、会議時間の短縮を図ります。</li><li>・教職員が勤務状況や定時退校日等を意識し、総勤務時間縮減の取組を進めます。</li><li>・教職員が子どものための教育実践に力を發揮できる学校づくりを進めます。</li></ul>	60分以内の会議 90% 定時退校日の達成 100% 時間外労働時間 30h/月 休暇の取得 12日